

中国の台頭、双子の黒字と経済発展戦略の見直し

余永定（ユー・ヨンディン）

2005年10月、中国政府は、「中国の経済社会の発展とは、科学的根拠に裏打ちされたものでなければならない」旨明言した。それは国民のための発展でなければならない、時代にそぐわない思考の枠組みは、修正されなければならない。総合的で調和のとれた持続可能な社会・経済の発展を実現するために、新しい発展モデルを導入する必要がある。

このレポートは、中国の長期成長軌道の体系的研究のための分析基盤を提供し、同時に、その成長性と制約条件について検討する。過去25年間の高成長を導いてきたのは、高い貯蓄率と投資率、改善が進む投資効率、豊富な人的資源、そして世界経済との関係強化であった。本レポートは、今後5年から10年について、これまでの高度成長下と同様に不均衡が拡大し、成長が失速することのないよう、発展戦略の見直しを提案する。海外市場への過度の依存を減らすこと、過度の投資を控え、投資効率を上げること、エネルギー効率を改善し、鉱物資源の枯渇を避けること、などの政策が含まれる。現在の双子の黒字は長く続くものではないが、国内金融市場の歪みや国民福祉にとっての大きな損失を意味するものである。最後に、世界経済の崩壊を回避しつつ、その不均衡を是正するために必要な通貨調整を実現するため、各地域および世界的な政策協調の必要性を訴える。